

# 撰津国島下郡郡村辻田家文書目録

正瑞 千幸・釜野 祥江

## 解題

本目録は、撰津国島下郡郡村の辻田家に伝来した古文書を収録するものである。本文書群は、令和6年（2024年）に辻田家から茨木市立文化財資料館が寄贈を受け、釜野が目録を作成し、正瑞が見直しを行い、正瑞・釜野が解題を執筆した。

### 1. 郡村の概要

郡村は撰津国島下郡に属し、千里丘陵東端に位置し、東は茨木川が流れ、亀山街道が村内を縦断している。慶長10年（1605年）「撰津国絵図」にみえる小堀村であり、江戸時代中期頃まで上野村と一括して把握されたと考えられている。支配は元和7年（1621年）京都所司代役知、貞享元年（1684年）幕府領であったが、元禄7年（1694年）武蔵忍藩阿部氏領となり、文政6年（1823年）阿部氏の陸奥白河藩転封によって同7年から御三卿の一橋家領となり幕末に至る（『日本歴史地名大系 28 大阪府の地名』平凡社、1986年）。

村高は、「元禄国絵図」では745石余（「撰津国絵図（元禄）」）とあり、「天保郷帳」と「旧高旧領（明治元年〈1868年〉）」は、ともに745石5斗1合である（「撰津国郷帳（天保）」（国立公文書館蔵）、木村礎校訂『旧高旧領取調帳 近畿編』（近藤出版社、1975年））。

鎮守は郡神社で、寺院は浄土宗知恩院末乗雲寺・浄土真宗本派妙寿寺である。茨木川は当地付近で白井川ともよばれており、白井の水辺は蜚の名勝で「撰津名所図会」にも記されている（『角川日本地名大辞典 27 大阪府』角川書店、1983年）。

### 2. 辻田家及び本文書群の概要

辻田家文書は、寛延2年（1749年）から大正15年（1926年）にかけて作成された全52点で構成されている。内容は近世の年貢割付状が約半数を占めており、その他に近代に作成された金銭収支帳や典籍が含まれている。これらの文書を概観すると、辻田家が近世中期から近代にかけて村内での年貢徴収の管理や農業経営を行っていたことが確認できる。本文書群が伝来した辻田家本家

は豪農の辻田万次郎家に該当し、文久3年（1863年）には郡村の年寄役を務めていた（茨木市史編さん委員会 2016、p. 603）。

本文書群の約半数を占める年貢割付状は、寛延2年から文政4年（1821年）に亘って20点が残っている。この期間の郡村は武蔵国忍藩主阿部氏によって領知されており、本史料からは阿部氏支配下での年貢徴収の状況が判明する。年貢割付状ではまず石高745石5斗1合の田畑内訳を記し、その後納入分の内訳を記載する。本年貢は十分一大豆銀納・三分一銀納・米納という銀や米で納める形態を採っており、他に糠藁代銀や堤敷竹木小物成を徴収している。末尾では庄屋・年寄・惣百姓が立ち会って算用し、間違いがないことを確認したうえで納入期日が定められている。なお、立ち会った庄屋・年寄・惣百姓は裏書で署名と押印をしている。年貢割付状で確認できる郡村の村役人の変遷は表1のとおりである。

表1 郡村村役人変遷表

年代	庄屋	年寄	仲兵衛	新右衛門
寛政9	1797 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
享和元	1801 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
享和3	1803 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化2	1805 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化4	1807 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化6	1809 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化8	1811 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化10	1813 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文化12	1815 喜左衛門	伴助	仲兵衛	儀右衛門
文政2	1819 伴助	喜右衛門	忠兵衛	儀右衛門
文政4	1821 伴助	喜右衛門	萬助	儀右衛門

出典：各年年貢割付状をもとに作成

続いて、近代の収支帳をみってみる。明治5年（1872年）から大正15年（1926年）にかけて作成された収支帳では、近代の辻田家本家が宛がっていた田畑小作人からの年貢などが控えられている。また、その他にも自作田表や肥料代金控など耕作に関する項目が多く見られ、郡村内で地主として農業経営をしていたことが分かる。また、農業以外にも家事手伝いなどの雑事に人を雇って日ごとの給与を計上しており、日常的に複数の使用人を雇用する立場にあったことが明らかとなる。

辻田家本家は、近世後期から近代に金融業で成長した豪農辻田万次郎が当主としてあった。辻田

万次郎は、慶応2年（1866年）に実施された一橋家の殖産政策である「産物手形弘方仕法」で札元となっていた。これは、辻田万次郎と同じく札元で豪農の川辺郡加茂村岩田猪兵衛の資本を元手に、産物仕法と銀札発行を連結させ、領内の富の増殖を図ったものという（茨木市史編さん委員会2016、pp. 520-521）。このように豪農として知られた辻田万次郎だが、史料の残存状況が芳しくないことからその経営規模や実態は不明であった。

こうした中で、本文書群には「辻田万治郎田畑宅地宛米帳」が2点含まれており、郡村内に限定されるが、万治（次）郎が所有した耕地規模を明らかにすることが可能である。本史料内では、小作人に耕作させる土地の場所や規模、収穫石高、手作耕地、作徳勘定が記載されており、明治13年（1880年）の郡村耕地作徳の内、定宛米は税金などを差し引いて669円26銭3厘となる。以上、郡村分だけを見ても、地主としての経営規模の大きさがうかがい知れる。

以上、辻田家文書の概要を述べてきた。辻田家本家は近世には郡村年寄、近代には地主として活動しており、不明な点は残りながらも本文書群からはその活動の一端を読み解くことが可能である。また、辻田家本家にとどまらず、阿部氏所領支配や豪農辻田万次郎の経営規模など種々の状況解明に迫りうる点が本文書群の特質である。

#### 参考文献

茨木市史編さん委員会 2016『新修茨木市史 第二巻通史Ⅱ』茨木市

#### 凡例

- ・表題 原表題を尊重し、原表題のないものは（ ）で内容表題を補った。前欠・後欠などのあるものは〈 〉で表記した。
- ・年代・西暦 文書に記載されている和暦を記し、西暦を補った。年代の無いものは、推定年代を（ ）で記載した。
- ・干支・月・日 文書に記載されている干支・月・日を記した。
- ・作成 文書の作成者を入力した。
- ・受取 文書の受取者を入力した。
- ・形数 文書の形状・数量を記載した。

摂津国島下郡郡村辻田家文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
1	阿郡様御免定廿式通(2~21一括・表題横書「明治四年(マ)年改」)	(明治)		申	正		村役人		包紙1
2	酉御年貢可納割付之事(端裏書「享和元酉年 郡村」・裏書・2~3紙縫一括・虫損)	享和元	1801	辛酉	11	15	小沢平太夫(印)・野沢与助(印)・堀越万兵衛(印)・小林太右衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
3	亥御年貢可納割付之事(端裏書「享和三亥年 郡村」・裏書・2~3紙縫一括・虫損)	享和3	1803	癸亥	11	15	室田平右衛門(印)・牛久保藤藏(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
4	亥御年貢可納割付之事(端裏書「文化十二亥年 郡村」・裏書・4~8紙縫一括・虫損)	文化12	1815	乙亥	11	15	岡戸右衛門(印)・竹内金兵衛(印)・小沢平太夫(印)・村田繁右衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
5	卯御年貢可納割付之事(端裏書「文化四卯年 郡村」・裏書・4~8紙縫一括)	文化4	1807	丁卯	11	15	室田平右衛門(印)・牛久保藤藏(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
6	未御年貢可納割付之事(端裏書「文化八未年 郡村」・裏書・4~8紙縫一括)	文化8	1811	辛未	11	15	室田平右衛門(印)・牛久保藤藏(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)・丹羽久馬右衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
7	酉御年貢可納割付之事(端裏書「文化十四年 郡村」・裏書・4~8紙縫一括)	文化10	1813	癸酉	11	15	岡戸右衛門(印)・大沢久藏(印)・小沢平太夫(印)・川勝弥右衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
8	巳御年貢可納割付之事(端裏書「文化六巳年 郡村」・裏書・4~8紙縫一括・虫損)	文化6	1809	己巳	11	15	室田平右衛門(印)・牛久保藤藏(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
9	丑御年貢可納割付之事(端裏書「文化二丑年 郡村」・裏書・虫損)	文化2	1805	乙丑	11	15	室田平右衛門(印)・牛久保藤藏(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
10	巳御年貢可納割付之事(端裏書「寛政九巳年 郡村」・裏書・10~12紙縫一括・虫損)	寛政9	1797	丁巳	11	15	小沢平太夫(印)・野沢与助(印)・堀越万兵衛(印)・小林太右衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
11	午御年貢可納割付之事(端裏書「安永三年 郡村」・10~12紙縫一括)	安永3	1774	甲午	11	15	堀越久内(印)・牛久保藤藏(印)・岩崎半左衛門(印)・小林太右衛門(印)・村田繁右衛門(印)・山田弥四郎(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
12	巳御年貢可納割付之事(端裏書「寛延二巳年 郡村」・10~12紙縫一括・虫損)	寛延2	1749	己巳	11	15	宇佐美儀左衛門(印)・平川市兵衛(印)・植村助太夫(印)・平野武兵衛(印)・岡本八左衛門(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
13	子御年貢可納割付之事(端裏書「明和五子年 郡村」・虫損)	明和5	1768	戊子	11	15	小野里喜右衛門(印)・荒川小右衛門(印)・岡孫右衛門(印)・岡崎惣兵衛(印)・松原弥三兵衛(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
14	未御年貢可納割付之事(端裏書「宝暦元未年 郡村」・14~17紙縫一括)	宝暦元	1751	辛未	11	15	肥土半太夫(印)・柏原十太夫(印)・岡崎惣兵衛(印)・宇佐美儀左衛門(印)・植村助太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
15	亥御年貢可納割付之事(端裏書「宝暦五亥年 郡村」・14~17紙縫一括・虫損)	宝暦5	1755	乙亥	11	15	永井東右衛門(印)・柏原十太夫(印)・肥土半太夫(印)・宇佐美儀左衛門(印)・植村助太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
16	丑御年貢可納割付之事(端裏書「宝暦七丑年 郡村」・14~17紙縫一括・虫損)	宝暦7	1757	丁丑	11	15	永井東右衛門(印)・柏原十太夫(印)・肥土半太夫(印)・植村助太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
17	酉御年貢可納割付之事(端裏書「宝暦三酉年 郡村」・14~17紙縫一括・虫損)	宝暦3	1753	癸酉	11	15	柏原十太夫(印)・岡崎惣兵衛(印)・肥土半太夫(印)・宇佐美儀左衛門(印)・植村助太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
18	寅御年貢可納割付之事(端裏書「明和七寅年 郡村」・虫損)	明和7	1770	庚寅	11	15	岩崎半左衛門(印)・小林太右衛門(印)・荒川小右衛門(印)・水濱五郎治(印)・岡孫右衛門(印)・岡崎惣兵衛(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
19	丑御年貢可納割付之事(端裏書「明和六丑年 郡村」・虫損)	明和6	1769	己丑	11	15	小野里喜右衛門(印)・荒川小右衛門(印)・岡孫右衛門(印)・岡崎惣兵衛(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
20	巳御年貢可納割付之事(端裏書「文政四巳年 郡村」・裏書・20~21紙縫一括・虫損)	文政4	1821	辛巳	11	15	堀江半兵衛(印)・小沢新三郎(印)・西村与一郎(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
21	卯御年貢可納割付之事(端裏書「文政二卯年 郡村」・裏書・20~21紙縫一括・虫損)	文政2	1819	己卯	11	15	堀江半兵衛(印)・西村与一郎(印)・矢嶋庄七(印)・小沢平太夫(印)	郡村庄屋・惣百姓	状1
22	(白紙)(横帳外れカ)								状1
23	辻田万治郎田畑宅地宛米帳(字ごとに石高記載)(虫損)	明治11	1878	戊寅	12		辻田彦次郎		横1
24	銅貨出入帳(四十四年五月分辻田次郎仕着せ控のみ)	明治35	1902	壬寅	3	吉			横1
25	当座金出入帳(食費・交際費・光熱費など)	大正11	1922	壬戌		吉	辻田泰吉(吉カ)		横1
26	年中日用帳(収穫・売物覚・対個人金銭取引控)(表紙破損)	大正2	1913	癸丑	1	吉			横1
27	[金銭貸借帳](対個人・対役所取引)(虫損)	明治5	1872				□□□方		横1
28	女房次第并補略(親王・入道・女房列記)(虫損)	(近代)							横1
29	当座金出入帳(食費・交際費・光熱費・書籍代など)	大正12	1923	癸		吉	辻田泰吉		横1
30	相続講目録覚帳(入願)(虫損)	弘化3	1846	午	2		講元倍賀村幸助他1名		豎1
31	□(天)保補正 古文真宝 乾(虫損)	天保12	1841	辛丑			浪華書林河内屋喜兵衛板		豎1
32	□(天)保補正 古文真宝 坤(虫損)	天保12	1841	辛丑			浪華書林河内屋喜兵衛板		豎1
33	集義外書 従一至三(小口書)	宝永6	1709	己丑	5	吉旦	帝都書師大和屋伊兵衛・同野人武藤氏祐政・東武書林須原屋茂兵衛		豎1
34	集義外書 従四至七(小口書)	宝永6	1709	己丑	5	吉旦	帝都書師大和屋伊兵衛・同野人武藤氏祐政・東武書林須原屋茂兵衛		豎1
35	集義外書 従八至十(小口書)	宝永6	1709	己丑	5	吉旦	帝都書師大和屋伊兵衛・同野人武藤氏祐政・東武書林須原屋茂兵衛		豎1
36	集義外書 従十一至十四(小口書)	宝永6	1709	己丑	5	吉旦	帝都書師大和屋伊兵衛・同野人武藤氏祐政・東武書林須原屋茂兵衛		豎1
37	集義外書 従十五至十六 終(小口書)	宝永6	1709	己丑	5	吉旦	帝都書師大和屋伊兵衛・同野人武藤氏祐政・東武書林須原屋茂兵衛		豎1
38	太政官日誌 第卅一(虫損)	慶応4	1868	戊辰	6		御用御書物所東洞院三條上ル町村上勘兵衛・堀川二條下ル町井上治兵衛		豎1
39	小學習字本 第七(虫損)	(近代)					村田浩藏(海石)	辻田しげ	豎1

摂津国島下郡郡村辻田家文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
40	年中日用帳(米收穫記・雇用賃金・貨物控など)(虫損)	大正15	1926	丙寅	1	吉	西辻田		横1
41	年中日用帳(売買覚・雇用賃金・乾亮吉養母葬式貨物控など)(虫損)	大正7	1918	戊午	1	吉	西辻田		横1
42	辻田万治郎田畑宅地宛米帳(字ごとに石高・小作人記載)(虫損)	明治13	1880	庚辰	12		辻田彦次郎		横1
43	年中日用帳(売買貨物控・未払買物覚・雇用賃金など)(虫損)	大正8	1919	己未	1	吉	西辻田		横1
44	年中日用帳(日用付込記・雇用賃金など)	大正9	1920	庚申	1	吉	西辻田		横1
45	年中日用帳(收穫覚・売物覚・日用付込記・雇用賃金など)(虫損)	明治45	1912	壬子	1	吉			横1
46	年中日用帳(売買覚・日用付込記・明治42年度年度米作控・雇用賃金など)(虫損)	明治42	1909	己酉	1	吉			横1
47	年中日用帳(日用付込覚・雇用賃金など)(虫損)	明治37	1904	甲辰	1	吉			横1
48	神峰遺稿 全	大正15	1926		7	10	故中村幾太郎		竖1
49	[金銭出納関係書付](裏貼・黒塗・虫損)	(近代)							一括
50	[金銭出納関係書付](裏貼・黒塗・虫損)	(近代)							一括
51	[支払帳](食費・生活費・頼母子掛込記など)(虫損)	明治15	1882		8				横1
52	[金銭出納帳](金銭貸与)(虫損)	(近代)							竖1